

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 12 日

事業名称	観光推進事業費 [観光推進事業]							
予算科目	款 7 商工費 項 1 商工費 目 3 観光費	事業番号	1					
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市上乗せあり)							
担当部署・課長名	産業振興 課 観光 係			課長名	小川 泉			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	3 - 6		
【施策名】 観光事業の推進					総合計画書 (ページ)	79		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ①市内外の人 ②観光イベント			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①∞ ②観光推進事業数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 国内外を問わず、市外の方がより多く東大和市を訪問する(多くの観光客が来ている)。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 交流人口(スイーツウォーキング応募者)のうち、市外の方の割合 → 市外の人／交流人口				
	③ そのために何をしましたか。 主催又は共催で事業を実施した。 ①主催事業の実施 ②共催事業の実施 (スイーツウォーキング・まちフォトコンテスト) ③観光情報の発信 (アプリ・うまべえ・マンホール)			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 事業数 ①主催事業数 ②共催事業数 → ③観光情報発信事業数				
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
	対象指標	①の数値		人事業	①∞ ②8		①∞ ②10	①∞ ②5
	成果指標	②の数値	人			20%		
	目標	②の目標値	人	38.0%	38.5%	35.2%	20%	-
経費	事業費(実績)		円	9,936,630	21,833,937	3,973,360	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更ください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	一般財源		円	9,629,630	10,767,937	3,973,360		
	特定財源(国・都・他)		円	307,000	11,066,000	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
環境変化等	所要人数(再任用以外)		人	3.0	3.0	3.0		
	所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0		
	職員人件費(再任用以外)		円	24,732,000	24,930,000	25,140,000		
	職員人件費(再任用)		円	0	0	0		
事業費+人件費		円	34,668,630	46,763,937	29,113,360			
(1) 開始年度	24 年度							
	(2) 環境の変化							
平成24年4月に組織改正が行われ、産業振興課商工係に観光事業を取り扱う部署(商工観光係)が設置されたことに伴い、市内の観光資源の把握・発掘・創出・活用を行うことが明確に示された。それを目的として、市主催又は実行委員会等との共催で事業を行っており、各イベント(うまかんべえ祭、スイーツウォーキング、まちフォトコンテスト等)や観光キャラクター「うまべえ」の認知度は高くなっている。平成31年度には補助金を活用し、「うまべえ」のデザインマンホールを市内24ヶ所に設置した。								
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの中止が相次いた。また、スイーツウォーキングやまちフォトコンテストは密集・密接を避けた形式に変更して開催した。								

事業名称	観光推進事業費〔観光推進事業〕			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業の応募者からは事業の継続を求める意見が多くあった。 中止となった事業について、開催を希望する意見があった。 コロナ禍で自由に外出や遠出ができないため、特に市外からの観光マップの送付希望についての問合せが多くあった。 							
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ</td> <td>取組手法：①、②、③、⑤、⑥</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 取り組まない</td> <td>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> </table> <p>(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点</p> <p>市民協働をより推進するために、実行委員や協力団体・企業を増やす。 各団体が自立した活動する仕組みを整えたい。</p>				<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：①、②、③、⑤、⑥	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：①、②、③、⑤、⑥							
<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）							
7 課題	<p>(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業やイベント等のマンネリ化を防ぎ、更なる認知度向上が必要である。 ボランティアガイド制度への登録者が減少している。 プラットフォーム運営会議は自立した任意団体とするために、自主運営による観光モデル事業の開催を目指す必要がある。 <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。</p> <p>コロナ禍の影響により従来のイベントや事業が実施できない為、実施方法を変更して事業を行った。例えば、スイーツウォーキングはレシートを集めて応募する方法に変更することで、事業のマンネリ化を防ぐことができた。</p> <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも可能な事業の実施方法を模索する必要がある。 交流人口の増加が見込めない状況で、観光や市内産業の新たなPR方法、サポート方法が必要である。 							
8 施策貢献状況	(この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。)							
	<p>施策名：観光事業の推進</p> <p><input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）</p>							
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各実行委員会やボランティア団体との市民協働のサポートとなるよう、市公式ホームページやSNSを活用したPR等を行う。 コロナ禍でも可能な方法を模索し、新たな方法で事業を実施する。 <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページやSNSの効果的な使用方法 実際に集客せずに東大和市の魅力を感じたり、市内産業の振興となる方法の確立 							